

10月5日(木曜日) 植樹予定地の整備と丸太運び

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 11名】



11月12日に開催する「くぬぎの森づくり」の植樹予定地の整備を行った。

枯れマツ5本を除伐して、玉切り。先週までに刈った笹を隅の方に集めた後、ちくちく出ている笹の茎を地面ぎりぎりに刈り払い機で刈っていった。これで転んで突いたりすることもないだろう。

花菖蒲園に自然映えしてきたハンノキを切る作業も行った。



午後からは、ビートルズベッドの腐食した柵を取り換えるために、杉林に伐って置いてあった丸太をカブトムシの森まで運んだ。

全部で柵にする丸太は20本、杭にする丸太は10本。落ち葉掻きのイベントまでに修理する予定である

10月12日(木曜日) 数年ぶりのモリメイト研修旅行

日本新薬山科植物資料館と古刹「隋心院」

【参加者：池本幸、池本美、木谷康、木谷京、越智宏、越智美、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中、儀賀 計12名】

秋晴れの朝、モリメイト12名がバスに乗り込み、日本新薬山科植物資料館に研修旅行に出発。

日本新薬は、植物を原料とする医薬品や機能食品素材を製造販売しているが、山科植物資料館では、それらの原料となる植物のほか、世界各地から収集した3000種を超す薬用・有用植物を植栽している。

資料館についての説明があった後、館の職員さんが約2時間、植物の説明をしながら案内してくれた。

ハーブの香りを楽しんだり、抗がん剤の原料になる植物の説明に身を乗り出して聞いたり・・・希少な薬用・有用植物を見ることができ有意義な研修旅行になった。

昼食後、「隋心院」に立ち寄り、帰路についた。



10月19日(木曜日)引き続き植樹予定地の整備を行う

【参加者;池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中、濱田 計10名】



先々週に引き続いて、植樹予定地の整備を行った。



ベルトが切れて、チップパー機が動かなくなったため、急遽、粉碎するためにかためておいた枝や笹を隅の方へ片付けることにした。手や熊手で運んだ後、レーキや箒で掃き、もう一度刈り払い機で丁寧に刈っていった。笹ぼうぼうの場所はきれいに整備され、小さい子たちが参加しても安心して植樹できるようになった。

10月26日(木曜日)植樹予定地の整備ほぼ終わる

【参加者;池本、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田 計12名】



チップパー機はベルトを交換してもらったから大丈夫だろうということで、渡辺さんの説明を受け動かしてみた。初めは動かなかったが、各部所を点検して、しばらくすると動き出したので、早速粉碎作業に取りかかった。クヌギの小径の両側に置いてあった枝葉を移動しながら順番に粉碎していった。最後にビートルズベッド周辺に散在していた枝葉の処理を行い、チップパー機はゆっくりと進んでいき、倉庫に戻すことができた。途中で止まることもなく最後までしっかり働いてくれてありがとう！

芝田さんが「くぬぎの森づくり」の看板を、今年分と第1回目分（この年の看板がなかったの）を作ってきてくれたので設置した。



小径に沿って草を刈り、箒で掃き、ほぼ整備が終わった。



モリメイト会議

- ・11月5日の岸岡山モリメイトの「森の音楽会」参加の有無、11月12日の「第9回くぬぎの森づくり」、12月10日の「落ち葉で腐葉土を作ってカブトムシを育てよう」などの案件について話し合った。